

第 39 号
題字 佐田一郎

発行／前橋商工会議所青年部（緑水会） 前橋市日吉町一丁目 8 番地の 1

編集／青年部総務広報委員会

代表幹事の一年を振り返って

前橋商工会議所青年部

代表幹事 小曾根 英 明



今年度、前橋商工会議所青年部は創立二十五周年という大きな節目の年を迎えることができました。会員の皆様全員の協力により創立二十五周年記念大会が滞りなく終了する事ができましたこと、心よりお礼を申し上げます。

さて、以然として日本経済はデフレの渦に巻き込まれ、まだまだ混沌の様相を呈しています。基本方針で示した様に、この様な時こそ地域社会での青年経済人としての役割をしっかりと自覚し、自ら家業を守り、発展させていく気概が求められていると思います。

青年部事業につきましては副幹事、各委員長のリーダーシップにより会員皆様と素晴らしい成果を上げることができたと思います。例会では観桜例会から始まり、冬の観光イベント（上州空つ風凰揚げ大会）まで、諸先輩や行政の方々にも多大な協力をいただきました。主な事業では、ローズクイーン・コンテスト・チャリティゴルフ大会・海外視察研修・合同クリスマスパーティー・各種の会員研修会などを精力的に参加、運営させていた

できました。前橋市との連携事業では「花火大会」「前橋まつり」の運営や警備の改善に踏み切り、軌道に乗りつつあると自負しております。また、前橋市が推進している市町村合併について我々青年部は今年以上に市民の代弁者として、強力に推進していただきたいと思っています。

今年も新たに十名の新会員が入会されましたが、緑水会発展のため、自らの企業発展のために精力的に参加し、緑水会の大きな力となることを期待しております。

『会員同士の連携・地域との連携・作り上げよう元気な前橋経済』を忘れずに今後も青年部会員が積極的に地域社会づくりに努力していただきたいと思います。

最後になりましたが、代表幹事を務めさせていただきました二年間に渡りましてご指導、協力していただいた会員はもとより諸先輩、事務局の皆様にも心より感謝を申しあげ皆様の飛躍をお祈りし、二年間のお礼とさせていただきます。

副幹事の一年を振り返って

嶋田 大和



平成十四年度の緑水会の事業も、代表幹事を中心として会員の皆様、さらに事務局と全員の理解・協力により、実施してまいりました。

今年度は緑水会創立二十五周年ならびに前橋市市制施行一〇周年にあたり、従来にもまして、祝賀行事・記念イベントと多忙な一年であったと思われます。皆様には貴重な時間を工面して参加活動していただきまして、誠にありがとうございました。

日本経済はますます泥沼化して、なかなか抜け出せません。何が自分にとって有効なのか、何が自社にとって有益なのか、自分で探し決断し実行する。その結果、成功しても失敗しても得るものがあると思います。まさに諸行無常であり、経営者において如何なる場面をも乗り越えていきましょう。

自分の中で緑水会をどのように位置づけてもいいですが、何か得るもののある活動拠点にして欲しいと思います。

最後に、会員の皆様この一年間ご協力ありがとうございました。

副幹事の一年を振り返って



長谷 浩 克

この一年を振り返って第一に思うことは、月並みですが「あつという間の一年だった」ということです。また、これまでと違った立場で緑水会の活動に携わってみて、大変に貴重な一年だったと思っております。

緑水会に入会して、副幹事に就任するまでの約五年間は、委員会に所属しその委員会が活動の基盤となっておりましたが、今年一年は会員交流委員会担当という役割はありましたが、委員会に所属せず執行部の一員として会の運営に携わり、事業運営の最前線から一步下がった視点で全体を見渡す機会を得られる場合もありました。

このような経験は今後の緑水会活動、企業活動ひいては社会生活でも、ひとつの糧になる経験だと思っております。

また今年度は、緑水会が二十五周年を迎えるという記念すべき年であり、そのような年に責任ある役職を与えていただいたことを皆様に感謝いたしますとともに、来年度もよろしくお願いいたします。

副幹事の一年を振り返って



山 岸 直 樹

今年度は、前年に引き続き総務広報委員会と、新たに事業推進委員会の副幹事をさせていただきました。全委員長が新任であるという中で、副幹事としての役割は何か、を良く考え活動してきたつもりです。「五委員長が主体の会である」という小曽根代表幹事の方針を最大限に生かせるよう、委員長が主体性をもって活動しやすいように、極力余計な口を挟まずサポートに専念することを心がけました。中でも、あまり携わった事のなかったローズクイーン・コンテストを担当させていただき、それまでの認識を新たにすることを思いだします。

私などよりコンテストを何度も経験してきているメンバーが積極的に中心となり進めていました。そこには勇気を振り絞って参加してきた人に対しての配慮や審査員への気配りがあり、すごいと思いました。また、ほぼ全員の参加者が、観光大使として活動していきたいという意気込みを強く持っており、当たり前の事なのですが、思っていた以上に素晴らしいコンテストになっている事に驚きました。

来年度は、これまで以上に頑張り自己研鑽していきたいと思しますのでご支援、ご協力よろしくお願いいたします。

総務広報委員長を振り返って



岡 田 友 子

総務広報委員長を仰せつかりました一年間が無事？終了しようとしており、心からホッとしております。皆様のご協力に心より感謝申しあげます。

微力ながら精一杯の努力をしようと全行事の参加を目標にいたしました。が、なんと大変な事なんでしょう！中小零細企業にとって非常に厳しい経済状況の中で、驚くほどの体力と気力を使い果たした一年間でありました。

私などでは総務広報委員長という大役には力不足だったとは思いますが、様々な行事に参加してみると色々なことが少しずつではありますが理解でき、多くのことを学ぶことができました。未熟者でいたらない点ばかりの委員長ではありましたが、本当に良い勉強をさせていただきました。勉強ばかりで代表幹事を始め特別理事や委員会の皆様には大変ご苦勞をおかけしました。本当にありがとうございました。

会員交流委員長を振り返って



阿久津 和 彦

まず始めに、会員交流委員会のみならず大変お世話になりました。

おかげさまで、なんとか任期を終えられそうです。副委員長を何度か経験しての委員長でしたが、一年間を振り返ってみると思ったより自身を成長させていただけの機会が多かったと思います。

私なりに一生懸命、無我夢中でやってきたつもりですが、至らない点が多々あったと思います。その都度、諸先輩方からご助言をいただいたり、仲間にも助けられたりとても良い経験になりました。

今年、初めて試みたソフトボール例会は会員の親睦も充実してでき、また会員の中でヒーローが生まれたりして、とても良かったと思います。なかなか緑水会

どうぞ若手？のメンバーの皆様、ただそこに行くというだけの参加ではなく、参加するからには自発的・能動的に参加してみてください。お声がかかった時はチャンスです。チャンスは前髪でつかめ！と申します。前髪のあるうちに頑張ります。きっと得るものは多いはず

のメンバーと一緒に汗を流す機会がないので、これからもそのような機会が持てる行事ができたと思います。

クリスマスパーティーはいかがでしたか？毎年限られた予算の中で新しいアトラクションを探していく、とても楽しいイベントです。今年は新入会員のアイデアを取り入れアレンジしてみました。

最後に、確かに委員長をすることは大変だと思います。しかし、とても楽しいですよ。

緑水会を愛するみなさん、是非とも委員長をやってください。

一年間、ありがとうございました。

経営研究委員長を振り返って



田島 宏明

観桜例会にはじまり、チャリティーゴルフに二十五周年。そろそろ腰をおちつけてと思っているうちに祇園山車に合併懇談会、ネット環境に手がまわったのは年があけてから、と一年中ドタバタと走りまわっていたような気がします。中でも特に印象に残るのは緑水会外部の方々との交流でしょうか。市役所をはじめ、まつりでの威勢の良い自治会の皆様、合併協議での前橋広域商工会青年部の皆様

との交流は委員長特権で存分に楽しませていただきました。

企業経営の研究は事業継承をテーマにいたしました。緑水会は近年若い方々の比率が増えています。より自分の会社の構造を理解する為にも、是非青年部に在籍している早いうちから継承について真剣に研究していただきたいと思います。ネット環境も少しずつですが定着してきており、会内でのたちあげ時期も終わり、来年度からは実践段階にはいるものと考えております。

一年間にわたり好き勝手させていただきました。ご協力いただいた委員、会員の皆様に感謝するとともに、暖かく見守っていただいた小曽根代表幹事、嶋田副幹事の懐の大きさに感服いたします。委員長は思ったより大変でしたが、それを遥かに上回る貴重な経験をさせていただきました。

次年度新委員長の皆さん、頑張ってください！！

地域開発委員長を振り返って



稲村 啓

本年度、地域開発委員会の事業無事終了することができました。

昨年地域振興例会を変更し「イタリアの夕べ」を開催し、本年度はまたさらに新しいものへの挑戦をさせていただきました。「前橋清掃に学ぶ会」です。同じ委員会のメンバーでも最初に打ち出したときは、誰もついてきては貰えない様な雰囲気から始まりましたが、ビジョンとポジショニングがはつきり見えてからのメンバーの動きには驚きの連続でした。八月二十四日にこの行事を開催し目標に掲げていたことも全て達成できました。

今年の抱負に上げさせていただいた、「感動し、すがすがしさを感じ、一生懸命になれば、会社に生かせ、気づきや発見があり、地域社会に役に立ち、気持ちがいいこと」と、なんとも欲をかいた抱負を上げさせていただきましたが、この全てが凝縮されたイベントであり、メンバー同士が額に汗し努力した結果、価値観の共有が図れたのではないかと思います。「今年の地域は一体感があり熱いね」など言われましたが、委員長を仰せつかり、これ以上ないほめ言葉だと思っています。

一年間、わがままを我慢していただいた小曽根代表をはじめとする、諸先輩方、事務局に感謝をし、最後まで付き合っていたいただいた仲間にお礼を申しあげます。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

事業推進委員長を振り返って



丸田 大介

青年部創立二十五周年、前橋市市制施行百十周年という節目の年に、委員長という大役を小曽根代表幹事より仰せつかり、事業推進委員会の事業をなんとか無事終了することができました。当委員会事業にご協力くださった会員皆様に心より感謝申し上げます。

年度当初、思い描いていた委員会の運営。「こうしてみたい、ああしてみたい」とは思っていたものの、年間事業を実施することが精一杯で、何一つ実行できなかったことを本当に反省をしています。

しかし、ローズクイーン・コンテスト、前橋市観光協会出向でお世話になった前橋市商業観光課の皆様、前橋まつりや凧揚げ大会の協力団体の皆様とお会いでき、色々なお話ができたことは、非常に貴重な経験であり、数多くの勉強となりました。

最後にこの一年間、大変未熟な自分に指導・助言をくださった小曽根代表幹事、山岸担当副幹事をはじめとする本部役員の皆様、事業推進委員会の皆様、各委員会の皆様、そして阿部課長、担当事務局の金井さんをはじめとする業務課の

皆様に感謝いたします。
ありがとうございます。

卒業会員より一言

卒業にあたり一言

前橋商工会議所青年部 特別理事

田中 一幸



早いもので会議所青年部入会以来、十九年という月日が流れ 卒業という時期になりました。十九年間を振り返ると、各事業が走馬灯の様に脳裏をかすめます。

特に、会議所創立一〇〇周年時の代表幹事、最終年の群馬県商工会議所青年部連合会長という大変重要な役目を務めさせていただき、貴重な経験を得ることができました。

この経験を私の財産の一つとして、これから前進していく所存であります。

最後に、会議所の職員の皆様には大変お世話になりました。今後のさらなる活躍を祈念いたしまして、卒業の言葉いたします。

永い間、本当にありがとうございました。

卒業にあたり一言

前橋商工会議所青年部 特別理事

都丸 和俊



卒業にあたり緑水会に入会して十四年間、多くの人の出会いと貴重な体験をさせて頂いた事に心より感謝申し上げます。

「人の成長なくして企業の繁栄なし、企業の繁栄こそ社会貢献である」の信条に基づき一生懸命未熟な自分の研鑽に努力してきました。

今後地域社会の中でお役立ちができる人・企業として革新して行きたいと思っております。緑水会員の益々のご活躍とご健勝を祈り、商工会議所青年部二十五周年の節目の年に卒業させていただきます。

卒業にあたり一言

前橋商工会議所青年部 直前代表幹事

羽鳥 亘



昭和六十二年に「緑水会」に入会以来、十五年の長きに渡り大変お世話になりました。

この間、代表幹事を始め通常では経験す

ることができない多くの貴重な体験をさせていただき、本当に「緑水会」の皆様感謝しております。

「緑水会」は、今後とも前橋経済界の中で大きな力を持つていくものと確信していますが、長い伝統を基盤とした上で、「新しい創造」に常にチャレンジする事を忘れないでください。

卒業にあたり一言

前橋商工会議所青年部 監事

伊東 研一



光陽電機の関口要先輩にご紹介ただいて入会して以来、はや十七年の歳月が経ちました。

まだ改築する前の松し満の大広間での新年会が私のデビューでした。

緑水会に入会したことといういろいろな経験をさせていただき、またいろいろな人と出会えたことは、私にとって大きな財産となりました。

あらためまして紹介者の関口社長様はじめ、出会うことのできた全ての方に感謝を申しあげまして卒業のご挨拶とさせていただきます。

卒業にあたり一言

前橋商工会議所青年部 監事

木暮 裕索



早いものでもう卒業と言う事になりました。緑水会に入った当時は、卒業なんてずっと

先の事に思えたのに、四十五歳なんてとてもジジイに思えたのに、そうなった時にたたくさんの事を先輩や仲間達から学んで来れた事、後に続く仲間達に同じ事ができたかと言う反省も含めて、いろいろと楽しんで来れた事が良かったと思っています。

そして、事務局の人達やいろんな人達に、「ありがとう」と、「これからも一緒に遊んでね」と。



卒業にあたり一言

前橋商工会議所青年部 理事



萩野修二

とうとうこの原稿を書く時がやってまいりました。

在籍十三年、当会で多くの方々と

知り合えたこと、また青年部ならではの経験をさせていただいた事に感謝申し上げます。今後に生かせる出会いと経験であつたと確信しております。

現役メンバーには、口うるさい辛口批評もしましたが、どこかに隠し味として「愛」が詰まっていた事に気付いた人がいましたか？皆さん、ありがとうございます。そして、これからもよろしく。

卒業にあたり一言

前橋商工会議所青年部 理事



茂木克之

前橋商工会議所青年部！いつの間にか卒業の年になつてしまい、そう

から十年が経ったのかと思うと十年はやはり早かった！

「緑水会」にいる事で様々な環境を知り、様々な物の見方を知り、様々な考え

方を知り、自分という一個人にとつて大いに有意義な時間を持てた事を誇りに思っています。

青年部を退いてもいつまでも仲間であると思い、少し自惚れかもしれませんが大事な友人達であると思っています。

卒業にあたり一言

前橋商工会議所青年部 会員



宇野剛毅

顧みれば平成九年三月、緑水会の末席に加えさせて

いただき、六年間という短い期間ではありましたが、大変に充実したまた、勉強させていただいた六年間でした。

また、前橋まつり、花火大会等、色々なイベントに参加させていただき、生涯の思い出を胸に刻むことが出来ました。

最後に諸先輩方が築きあげた歴史と伝統を守り、緑水会の名が後世まで残りますよう陰ながら応援させていただきま

す。
緑水会万歳。

卒業にあたり一言

前橋商工会議所青年部 会員



井口直人

卒業にあたり十三年間色々とお世話になりました。

事業推進委員会に長年に渡り在籍させてもらい、数多くの異業種の人達との交流をさせてもらった事は自分のこれからの人生においても、多大な影響をもたらしてくれると思います。イベントも多く参加させてもらい、楽しい思い出が出来ました。

委員会にはあまり出席できず、イベントへ出席させてもらい、本来の商工会議所青年部としての役割があまり出来なかつたと、反省しています。

後輩の皆様には、これからも商工会議所青年部として活躍される事を祈念して簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。



卒業にあたり一言

前橋商工会議所青年部 会員



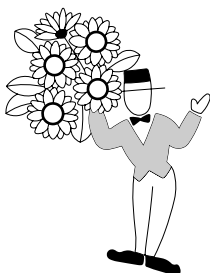
今村暢男

緑水会を卒業するにあたり、小生がUSAにいた時から考えていますグローバル化国家

改造国富論のさわりを記します。

前橋や高崎のような中核都市の合併と経済特区化の加速。陳腐化した祭や花火大会等の廃止。若者や企業本社の海外流出の促進。高速道のFree way化。編入と退学が前提の大学の無試験入学制度。心が荒みすぎているので宗教の教育。インドのように幼稚園からの英語教育等。

この続きはどこかで、グッドラック。



新入会員紹介

平成十四年四月から十五年三月までの新入会員です。

町田 晶也



入会
平成14年4月4日
会員交流委員会
(株)町田酒造店

高木 克哲



入会
平成14年4月4日
会員交流委員会
(有)ファン

中村 丙午



入会
平成14年6月3日
会員交流委員会
群馬日野自動車(株)

中津山 俊輔



入会
平成14年6月3日
会員交流委員会
(有)アンマルシェ

山地 剛



入会
平成14年7月4日
会員交流委員会
リシカール
ビジネスファーム

井上 莊志郎



入会
平成14年10月4日
会員交流委員会
(株)エヌディーイー

井上 直也



入会
平成14年10月4日
会員交流委員会
井上ビニール(株)

林 豊



入会
平成14年10月4日
会員交流委員会
(有)キャリア

大塚 秀樹



服部正博氏より変更
平成14年11月5日
会員交流委員会
(株)東和銀行

鈴木 泰徳



入会
平成14年12月4日
会員交流委員会
画廊 山月

高野 和之



入会
平成15年3月4日
会員交流委員会
(株)高野商店



青年部創立二十五周年

記念CDを制作しました。

青年部創立二十五周年を記念して、CDが制作されました。
この事業は二十五周年実行委員会が各イベントや講習会・講演会などにむき写真やビデオを撮影・編集したものです。

